

5千円給付 予算修正で可決

野瀬町長「5千円給付はむづかしい」閉会あいさつで

9月定例会は令和元年度一般会計ほか特別会計決算認定の議案などが審議・採決され、28日閉会しました。その内、下水道事業特別会計の資金不足比率の報告に重大ミスが発覚し、審議やり直しの結果、賛成3反対7で同会計決算は「不認定」となりました。審議・採決結果などの一部をお知らせします。

防災・コロナ対策
各字に丸投げの
「一律300万
円」
「給付」否決
13字自治会に一律300万円を給付するなどの令和2年度一般会計補正予算案（第5号）に対し、8人の連名（提出者建部議員）で修正案が提出され賛成9反対1で可決。

設した補正予算（第6号）は全員の賛成で可決しました。西澤議員がおこなった賛成討論（要旨）をお知らせします。

「くらし・いのちを守る
予算最優先を
インフルエンザ予防接種補助拡充とPCR検査補助を盛り込んだこと、町民が健康で暮らす上で、必需的な費用を県と町が強調して保障する姿勢を歓迎します。

設したことは、先駆的に犬上彦根地域でPCR等検査体制をつくる原動力の一つになると思います。これは、臨時会で可決した「新型コロナウイルス感染症に伴うPCR等検査の抜本的拡充と住民支援策の拡充を求める決議」の一部を実行するものであり、建部議員の補正予算案第5号の修正に関わる提案を取り入れたことも歓迎できます。

PCR検査センター
設置 加速を
今後、インフルエンザの流行期とコロナ感染拡大が重なる恐れは十分にあり、犬上郡の住民に対応できるPCR検査センター設置が加速するよう町長はじめ関係課の努力を促したい。

さらにインフルエンザ予防接種補助を今回対象とならず、不安を抱え、希望する全町民にも拡充する必要があります。

※野瀬町長の閉会あいさつでの「5千円給付困難」発言は議会

PCR検査補助創設

議員提案 受け入れ

可決された修正方力は、各字自治会に一律300万円ではなく、世帯数が最も少ない字には50万円から順次増額し、一番多い字には120万円を、防災などの補助要綱を定め、準備が整った字から給付するとしています。また町民1人当たり5千円の支給については町が責任をもつて給付するとしています。さらに、駐車場整備事業700万円を削除。

画期的！

PCR検査補助
インフルエンザ予防接種補助拡充の費用と共にPCR検査補助費用を創

その他、決定されたこと

- ◆安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願採択を受け同名の決議が全会一致で可決！
- ◆資格を既になくしていた大町前議員が審議に参加した問題は総務民生常任委員会に、下水道会計の重大ミスがなぜ起きたかの問題は産業建設文教常任委員会に、それぞれ付託して解明する事務検査決議が可決。両案とも西澤議員が建部議員、丸山議員の賛同を得て提出。大町失職問題は賛成8反対2、下水道会計の問題は全会一致でした。
- ◆西が丘山林の有効活用を求める決議＝山田裕康議員が提出し、賛成8反対2で可決。西澤議員は「今はコロナ対策こそ集中すべき」、自然・観光との調和などの観点から反対しました。（詳しい解説は後ほど）



甲良民報

2020年10月4日 806号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。

◎日本共産党の見解を紹介します。メール

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】